

feat. 北海道日本ハムファイターズ 第2回スポーツ・キャラバン in下妻市

スポーツ・食・工作・応援…外での楽しい過ごし方を実験する2日間

参加無料
一部有料

ハッコヨ! スポコミ!

Day1 2019/3/23(土) 8:00-16:00
会場: 千代川運動公園・千代川中学校 (本部: ふれあいハウス 南側の芝生)

Day2 2019/3/24(日) 9:00-16:00
会場: Waiwaiドームしもつま

ファイターズアカデミーコーチとマスコット「B☆B」が2日間ともやってくるよ!

応援する!

軟式野球エキシビジョンマッチ 14:00-
北海道日本ハムファイターズ08+地元中学生 V.S 地元社会人連合が対決! ファインプレー! 時々珍プレー! に乞うご期待。どちらのチームにも熱いご声援をよろしく願います!

千代川中部活動 公開練習 8:00-
千代川中学校運動部を中心に部活動の様子を公開! もうすぐ中学生のみさんの見学大歓迎です。真剣に練習に取り組む中学校運動部の様子をぜひ見に来てください!

100人チェキ! フォトブース 9:00-
記念フォトブースで記念撮影しませんか? 友だち・先生・家族と一緒に写真を撮って、新学期へ向けた抱負・目標を書いて展示しよう! (イベント期間中展示後返却します。ご希望の方は当日返却も可能) (本部横設営)

キッズダンスパフォーマンス 13:00-
野球場をステージに子どもたちがオリジナルダンスや国体ダンスを披露します。可愛く、格好良く、パワフルなパフォーマンスをお見逃しなく!

体を動かす! あそぶ!

歩け歩けクイズラリー 9:00-
会場の各所に配置されたクイズを、歩いて探してクリアしよう! 会場全体をぐるっと歩くと約1.5~2kmになり軽いウォーキングにもぴったりです。クリア後、北海道日本ハムファイターズグッズもあたるくじ引きに挑戦できます (本部受付)

手あそび工房 24日も開催! 9:00-
工作・お絵かきを楽しめます「あがれ! ビニール袋風」「回れ! 紙コップUFO」「心ゆくまで落書きレジャーシート」「竹馬・ペーゴマ・竹とんぼ・なつかし遊び (24日のみ)」で遊びましょ。オトナ歓迎! (本部横設営)

食べる!

コバラミタス*フードエリア
あったかいドリンクやスープ、ワッフルなども販売します。たくさん歩いて遊んだ後に小腹を満たしにきてください* (出店: 移動カフェ PINON) また、アンケートにご協力いただいた方へ「じゃがバター」を無料でプレゼント!

千代川運動公園 (本部: ふれあいハウス南側芝生)
〒304-0818 茨城県下妻市鬼怒257

Waiwaiドームしもつま
〒304-0068 茨城県下妻市下妻丁91
※カーナビは下妻丁16を目的地にすると近くまで案内されます。

facebook イベント ページ

【主催】下妻市 【主管】ハッコヨ! スポコミ2019実行委員会 (寺虎家下妻寛福編体実習班) 【運営支援】(株)北海道日本ハムファイターズ / (株)Waisports ジャパン
【協力】北海道×茨城県プロジェクト / 筑波大学スポーツ環境デザインプロジェクト室 / NPO法人 DAS / まちづくり市民団体 しもつま3高 下妻市役所都市整備課 0296-45-8128

有料広告欄

我ら、国体盛りあげ隊!
国体に向けた取り組みなどを紹介するコーナー。その名も

花とふれあいまつり・鬼怒川流域交流Eポート大会創生記
茨城国体デモンストレーションスポーツ:Eポート

今回は、今年5月に茨城国体のデモンストレーションスポーツ競技として開催されるEポート大会の成り立ちについて、花と一万人の会会長、鬼怒川流域交流Eポート大会実行委員会委員長を歴任し、現在下妻市ふるさとづくり推進協議会会長を務める飯塚武彦さんにお話を伺いました。



「まずは鬼怒川河川敷整備、花と一万人の会(花とふれあいまつり主催団体)設立のきっかけについてお聞かせください」

設立以前の鬼怒川河川敷は雑草が生い茂り、ごみがあふれ、治安も悪いという状況でした。子どもの頃に川遊びや釣りに興じ、自然からたくさん学びを学んだ経験から、多くの人がその状況に心を痛めており、なんとかしたいとの気持ちは非常に高まっていました。

そのような中、茨城県で全国都市緑化フェアが2年後に開催される機会に恵まれ、国や県、有識者やコンサルタント、NPO団体とのつながりができ、平成3年に河川敷の整備や河川を活かした地域づくりを目的とした花と一万人の会が設立されました。

現在は「鬼怒フラワーライン」として5,000㎡に約50万本のポピーが咲き誇る河川敷ですが、活動は一面に広がるごみの撤去から始まり、整備のほとんどは地元有志がボランティアで行

▼1991年の鬼怒川河川敷の様子



つていましたが、河川敷に埋没する小石の撤去はとにかく大変で、花畑にするため耕地の天地を入れ替えたり、肥料を入れたり、苦勞してやっと咲いた花は、背丈が通常の半分の小さな花。筑西地域農業改良普及センターの方にアドバイスをいただきながら土づくりから始め、立派な花を咲かせるまでには3年程かかりました。

「河川敷がきれいに整備され、いよいよEポート競技が開催されることとなるわけですが、成り立ちについてお聞かせください」

以前、青年会議所に所属していた頃、全国各地の地域づくりを視察してみると、どこを訪れても自分と同年代の代表が地元について30分も40分も熱く語る姿が印象的でした。一方こちらは、故郷はどんな町かと聞かれても「川があつて田んぼがあつて、あとは何にもありません。」と答える寂しいありさま。せめて自分の地域を10分でも語れる魅力づくりをしなければと強く思い、その一環として花と一万人の会やEポートを考えていったわけです。Eポート競技は、安全性が高く女性や子どもも参加でき、災害時には救助艇にもなる。また、チーム競技で水に親しみながら学びも多く得られ、スポーツが苦手な子でも行える競技ということで、全国Eポート連絡協議会北関東支部を立ち上げ、平成16年の第9回鬼怒川流域交流Eポート大会には全国大会を誘致することができました。

▼花とふれあいまつり・鬼怒川流域交流Eポート大会の様子



「Eポート大会開催初期の苦勞は」

運営の面では、地域の協賛を募るため何百件も協力をお願いしました。また、一艇100万円以上もするEポートを競技開催台数分用意するために他県からレンタルするなど、Eポートの確保にも苦勞しました。

大会当初は、参加をお願いしてもやっと10チーム集まるという状況で、現在のように40チームの枠にキャンセル待ちが出るようになったのはこの3年程です。花とふれあいまつりやEポート大会がここまで盛んになったのは、なんといっても設立時から支えていただいている各関係団体・地域の協力があつてこそだと思っています。

「今年国体のデモンストレーションスポーツとしてEポートが行われますが」

今年で24年目を迎えるEポート大会が国体競技として開催されることは、大変嬉しく思います。Eポートの「E」は「everybody誰でも」、easy(簡単に)、enjoy(楽しく)、exchange(交流)の意味を持ちます。この大会を機に、より多くの人に私たちの取り組みについて知ってもらい、市町村や県の境を越えて交流が生まれることを期待します。当日は、各関係団体による催し物や飲食ブースの出店、名物のジャンボバーベキューもありますので、皆さんもぜひ、会場でexchange(交流)しましょう。

お問い合わせ ▶ 生涯学習課国体推進室 〒304-8555下妻市鬼怒230 TEL45-8100 FAX:43-3519